(公社)福岡県建築士会情報誌 メッセメールマガジン 令和4年12月1日発行 第198号 通巻第414号

作品名　古民家ヴィラ　あんたげ
建築主　東峰村長　眞田秀樹
設計者　納谷建築設計事務所＋OYA /
　　岡田祐介建築設計事務所
　　納谷学　納谷新　岡田祐介
施工者　株式会社南里住建　南里一仁

第34回 福岡県美しいまちづくり建築賞
一般建築の部　優秀賞
福岡県HPから作品集がご覧いただけます！
第34回福岡県美しいまちづくり建築賞作品集

MESSE (公社)福岡県建築士会 情報誌メッセ 12

案内　専攻建築士申請受付と更新

専攻建築士の新規並びに更新申請の受付が始まります。本年度の受付期間は1月4日から2月末日までです。

平成29年度に専攻建築士新規登録または登録更新された方は、5年毎の更新時期がまいりました。また専攻建築士の認定に期限はありませんので、過去に更新を見送られた方も条件が整った時点で復帰更新が可能です。更新申請には建築士会のCPD60単位以上を5年以内に取得することが必要ですが、下記の特例もあります。更新対象の方には、事務局よりご連絡いたします。

※令和元年9月に専攻建築士制度規則が一部改正されました。

1．専門分野の表示限度数（3専門分野）を廃止

2．専門分野を追加（中大規模木造建築・歴史的建造物保存活用・既存住宅状況調査）

3．専門分野の表示に必要な実務実績を3件から1件に改定

4．専攻建築士経歴者証の有効期限（5年毎の更新）を廃止

5．特例による更新申請対象者の改定（新対象者⇒専攻建築士認定後10年を超える申請者）

※CPDは認定教材「建築士」の活用がおすすめです。

コロナの影響で講習会や見学会が減ってCPDが不足している方は、会誌「建築士」を読んで設問に答える方法をお薦めします。過去2010年以降の会誌情報がCPD単位になります。更に、ここ2年くらいは、CPD対象の記事件数も約2倍になっています。手続はCPDシステムの自己申請-建築士会CPD（認定教材）をご利用ください。

ご不明な点は事務局までご連絡を。

CPD・専攻建築士委員長　佐々木郁夫

報 告　11/2　11月定時理事会

１１月２日（水）に１１月定時理事会が開催されました。概要は以下のとおりです。

○日　時　：　令和４年１１月２日水曜日　１５：００～１７：００

○場　所　：　ＡＲＫビル２階大会議室

○出席者　：　理事１３名、監事２名、顧問２名、事務局１名　計１８名　オブザーバー参加　1名

○議　題

（１）審議事項

１号議案　入会者の承認と退会者の報告について

・令和４年５月１日から９月３１日までに入会申し込みがあった３０名について入会承認を求める

・同期間中の退会者３２名について併せて報告する

参考）10月14日現在／正会員数　1,952名、準会員207名、非会員 149名

・期首正会員数　1,953名

・期中異動　4/1～10/14入会者数44名、退会者数45名 差し引き＋1名）

２号議案　ホームページサーバーの新環境への移行について

・本会が利用するホームページサーバーを移行させるために支出した経費３９３，０００円ほかについて承認を求める。

３号議案　事務局職員について

・事務局職員の退職に伴い、新たに職員を採用する必要があり、承認を求める

（２）協議事項

１）令和５年度定時総会開催について

案）開催日：令和５年６月２日（金）　※６月第１金曜日／　開催場所　：県南ブロック

２）ホームページリニューアルについて

サーバー移行を契機にセキュリティー強化などを図ったホームページへのリニューアルを進める。

（３）報告事項

１）令和４年度 会費入金状況及び未納者リストについて

・会費入金状況　10/26　現在：95.8%

・未納の状況　　会費１年未納者　66名、２年未納者　14名

２）令和４年度 会計執行状況について　　10/12現在　執行30%

３）「福岡県木材利用促進協議会」について

・理事・事務局長として当会まちづくり委員秋山篤史会員が就任

４）福岡県高等学校職業教育認定制度について

５）6/25令和４年度九州ブロック研究集会「建築士の集い」長崎大会について

・参加者47名／意見交換会38名

６）7/17令和４年度第31回全国女性建築士連絡協議会（東京）について

・東京現地参加者5名／WEB参加者9名

７）10/14令和４年度建築士会全国大会あきた大会について

連合会会長表彰：上村公仁隆会員（福岡地域会）、廣田栄作会員（福岡地域会）、

内野英雄会員（久留米・浮羽地域会）

伝統的技術者表彰：髙野政則氏（柳川地域会推薦）

永年勤続職員表彰：末永美穂

・参加者：25名（会員24名＋事務局1名）

８）講習会等報告

・令和４年度ヘリテージマネージャー（HM）・ヘリテージサポータ（HS）養成講習（第６期）

受講者数：31名〔HM　26名（うち正会員17名、一般9名）／HS　5名（うち一般5名）〕

・令和４年度中大規模木造建築物技術者講座について

受講者数：67名（定員50名）〔正会員41名／非会員2名／一般24名〕

・令和４年度第３５回福岡県美しいまちづくり建築賞について

応募数61件　内訳：【住宅の部】25件【一般建築の部】36件うちリノベーション対象6件）

現地審査対象作品 【住宅の部】4件、【一般建築の部】4件、【センター理事長賞】2件

・令和４年度建築甲子園応募について 0件

９）地域貢献活動助成について

①九州大学大学院末廣研究室team Bamboo『竹を用いた舞台ステージの建設と野外劇の上演』

②西日本工業大学水野研究室 『八幡の近代化遺産を活用したまちづくり活動』

③北九州市立国際環境工学部建築デザイン科山田研究室『日田彦山線廃線区間の沿線地域における廃線の影響とまちの持続について』

10）中間監事監査について

11）会長・業務執行理事の職務の執行の状況報告について

（4）その他

1）令和５年度　九州ブロック会まちづくり塾　福岡開催予定

2）令和５年度　第６５回建築士会全国大会　しずおか大会

開催日：令和５年１０月２７日（金）

開催場所：メイン会場　静岡　グランシップ

3）令和７年度　九州ブロック会研究集会　建築士の集い「福岡大会」開催予定

次回会議予定

・令和５年１月２４日（火）第２回運営協議会＋地域貢献活動報告会

・令和５年３月上旬　　３月定時理事会

※審議事項はすべて出席理事全員異議なく承認可決されました。

専務理事　碇　好生

報 告　11/15事務所協会主催「福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技」表彰式

11月15日、福岡県弁護士会館にて福岡県建築士事務所協会主催の「福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技」表彰式が行われました。

県知事賞には高等学校の部は有明工業高等専門学校３大津結花さん、専門学校の部は麻生建築＆デザイン専門学校２年前田優一さん作品が選出され、表彰されました。

福岡県建築士会からも建築士会会長賞として、高等学校の部は有明工業高等専門学校３年矢野琉星さん、専門学校の部は麻生建築＆デザイン専門学校１年亀津侑治さんが選出され、表彰を行いました。

各賞を受賞された学生さんの作品はいずれも力作で、将来、建築設計の世界で活躍されることを期待させる表彰式でした。

★高等学校の部

(公社)福岡県建築士会会長賞　有明工業高等専門学校３年　矢野　琉星

『森の隠れ家』

作品は こちら(PDF)

★ 専門学校の部

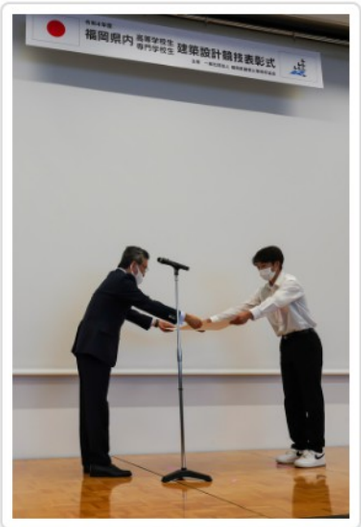
(公社)福岡県建築士会会長賞　麻生建築＆デザイン専門学校１年　亀津　侑治

『旅立ちの巣 』

作品は こちら(PDF)

令和4年　高等学校の部

令和4年　専門学校の部



表彰式　高等学校の部

副会長　柴田成文

報 告　11/12　九州ブロック青年・女性建築士協議会

令和4年11月12日に佐賀県嬉野市中央公民館（塩田公民館）にて、九州ブロック青年建築士協議会　及び女性建築士協議会　第２回運営協議会が開催されました。

今回の協議会では、ワークショップとして映画上映会（タイトル：人生フルーツ）が企画されました。内容は、高度経済成長に必要とされていた建物を設計したものの自身の理想とは程遠く、その後自ら手掛けたニュータウンに土地を購入し、家を建て、雑木林を育て、自然との共存しながらの生活を送っているご夫婦のドキュメンタリー。夫婦ふたりでコツコツ、ていねいに時を重ねていく姿が描かれていて、建築的な面では建築と自然の

調和の必要性を感じることができる内容となっていて、そして何より、私にとっては、建築の楽しさを改めて感じることのできた作品でした。

午後からの運営協議会では、6月に開催された「建築士の集い　長崎大会」の報告と、令和5年度開催予定の「建築士の集い　佐賀大会」について議論を深めました。その後、運営・情報・会員増強の３つの委員会に分かれ、建築士会の活動運営やその充実、建築士会の活動の情報発信方法や周知方法の改善、会員のスキルアップや会員増強の手法等、様々な議題についてみんなで意見を交わしました。

今回、私は初めて委員として協議会に参加させていただきました。「建築士の集い」開催にあたり、どの場所で開催をし、集い参加者に「開催県の何を見て、何を感じてほしいのか」、また建築士同士の交流をどう深めていくのかを開催県の建築士会の方々がきめ細やかに計画をされていることを知りました。「建築士の集い　長崎大会」でも同様の過程を経て、とてもすばらしく充実したものになっていたことに私自身の気づきがあり、感心するところでありました。また、建築士会をより良いものとすることで、建築の専門家として様々な形で地域との繋がりを持ち、地域への貢献を増やして地域と一緒に成長していけるのではないかと感じました。

最後に、運営協議会の委員としての活動の中で、少しずつでも地域への貢献、自身のスキルアップへ繋げていきたいと思います。

青年・女性委員会　小屋松啓太

コ ラ ム

「建築と法律」（84）

四号建築物（建築確認申請の審査を簡略化できる。）の範囲を縮小することなどの法律が改正され，２０２５年度施行が予定されています。建築確認申請に構造チェックの資料は添付する必要がないことで，チェックそのものをしていないと疑われる事例もあったことなどから，弁護士会は改正の必要性をうったえていました。

施行まで２年以上ありますが，現行でも，そもそも，審査は簡略化されていても，建築士による構造の安全性のチェックなどは必要であることに留意ください。

【会員のための無料法律相談のご案内】

１２月１３日（火）に福岡市内で無料相談をします。電話での法律相談は随時実施いたします。いずれもご希望の方は電話にてご予約ください。秘密は厳守いたします。電話0985-65-8800（あさひ法律事務所・宮崎市旭1-7-15MRKビル2F）

(公社)福岡県建築士会 福岡地域会 会員・弁護士（宮崎県弁護士会）　矢野間 浩司

報 告

仕事体験ワークショップ開催

10月30日(日)　警固公園で福岡市主催のイベント「一人一花サミット」が開催され、その中で工事体験ワークショップを企画し参加しました

活動内容は「小さな家づくり」と「木の椅子づくり」です

1.5間×1.5間の木造軸組みの家の建て釘を使っての外壁板の張りつけ作業を行いました

木の椅子づくりでは予め加工した木材を釘で組み立て子供用の小さなサイズの椅子をつくります

密にならないよう配慮しながら、秋晴れの心地よい天気の中開催することができました。

警固公園という場所柄、大人の方の参加も多くみられ「木の家」は行きかう人に良く目立ち１００セットほど用意していた椅子のセットもなくなるほどでした

メンバーも福岡地域会、北九州地域会、久留米うきは地域会から参加してくださり、久しぶりに対面で活動ができ良い交流の場となりました

全体の様子

木の家づくり

外壁板張りの様子

外壁板張りの様子

棟上げ

参加メンバー

体験を通して子供たちが建築へ興味を持ち、未来の建築士へとつながってくれることを願います

青年・女性委員会＋福岡地域会　馬渕淳司

報 告　福岡県ヘリテージマネージャー・ヘリテージサポーター養成講習会（第8回目）

8月より開講した第6期養成講習会（全15回）も、折り返しを向かえ後半戦に突入しました。
第8回は11月12日（土）に行われ、北九州門司港レトロ地区にある「重要文化財　旧門司三井倶楽部」（大正10年）の保存修理現場を見学しました。講師に、現場監理をされている（公財）文化財建造物保存技術協会の江崎信貴先生をお招きし講義していただきました。修理は耐震補強工事を中心に、屋根・木部・左官・内装などの部分修理が行われていました。メインであった耐震構造補強工事はすでに完了しており、施工中のスレート屋根、壁紙工程などの説明をしていただきました。
その後、九州鉄道記念館（明治24年）、門司港駅（大正3年）、旧サッポロビール九州工場事務所棟（大正2年）を見学しました。明治から昭和初期にかけて栄えた門司の歴史を肌で感じることができる、充実した講習会となりました。「まるで大人の修学旅行のようで楽しかった」と受講生からも感想が寄せられ、歴史的建造物の保存・活用事例を楽しく学ぶことが出来たのではないかと思っております。
これからも講義はまだまだ続きます。それと並行して受講生には「私が見つけた登録有形文化財」と題して、各々が歴史的建造物を見つけ出し、調査、作図、評価を行う卒業課題に取り組みます。だんだん寒くなり半袖から長袖に伸びたように、夏から蓄えた知識をもっと伸ばし、出来ることも伸ばし、実りあるヘリテージ養成講習会にしていきましょう！！

修理工事が進む旧門司三井倶楽部本館

講義の様子

スレート（屋根葺き材）を説明する江崎先生

門司港駅

門司港駅コンコース

左：旧サッポロビール九州工場 事務所棟
右：同 醸造棟

まちづくり委員会　ヘリテージ部会　古賀友貴

報 告　令和４年度　福岡・まちづくり活動支センター　地域貢献活動助成金 ～学生３団体へ助成～

福岡・まちづくり活動支援センターによる地域貢献活動助成は、地域住民と共に実践するまちづくり活動を支援し、地域環境及び建築文化の向上に貢献することを目的に、平成14年に福岡県建築士会内に設立され、これまで20年間にわたって多くの団体活動を支援してきました。

平成26年度からは将来の建築士会会員予備軍である建築系の学生団体のみを対象とし、活動助成を行っています。

今年度は、継続１団体、新規の２団体の計３団体を採択しました。例年、開催していた「授与式」は、残念ながら、今年度も「コロナ感染予防」のため中止とさせていただきました。

各団体の活動及び研究テーマをお知らせいたします。活動内容について、その成果が期待されるところであり、来年の2月頃には中間報告を行いたいと思っております。

■令和４年度　採択された学生団体のテーマ

活動団体名	テーマ	継続・新規の区分
西日本工業大学 水野研究室	八幡の近代化遺産を活用したまちづくり活動	継続
九州大学末廣研究室 ｔeam Bamboo	竹を用いた舞台ステージの建設と野外劇の上演	新規
北九州市立国際環境工学部デザイン科 山田研究室	日田彦山線廃線区間の沿線地域における廃線の影響と町の持続について	新規

まちづくり委員会
まちなか・地域貢献部会長　山田　龍雄

北 九 州

報 告　第１５回関門地区（下関市・北九州市）景観ウォッチング＆セミナー

北九州地域会は山口県建築士会下関支部と共同で、令和４年１０月２９日、“心の中にある景観を考える「海峡、そして景観とは」(門司編)”をテーマに、クリエイターの黒田征太郎氏を講師に、下関市や北九州市の市

民、まちづくり団体、建築士会など４１名にご参加いただき、景観ウォッチング＆セミナーを開催しました。

最初に黒田先生に「海峡を描いてみる」と題し講演をしていただきました。その後、関門海峡の風景などを参加者がスケッチし、それを踏まえて黒田先生によるワークショップを行いました。「関門海峡」などを「スケッチ」することで、見慣れた景色に新たな発見をしたとの意見を多くいただきました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

北九州地域会　野村明男

○景観ウォッチング＆セミナー「心の中にある景観を考える」に参加して

「なぜ、１と１とを足さなければいけないのか？」

これは冒頭、講師の黒田征太郎さんが紹介した”さんすう”の時間の疑問で、それを聞いた先生が黒田さんの頭をコツンとしたことを今でも鮮明に覚えているそうです。

セミナーでは、まず、「黒田さんがなぜ絵を描くのか」を、今お住まいの門司港で感じる感謝や優しさなどが織りなす日常生活と共に、「ただ、描くことが好きで楽しい」からとお話されました。

引続き、「好きな景観を探し、うまい下手関係なくスケッチしてみましょう」と言うことで、街に出ました。「ハートカクテル」のような青空の下、ロープに繋がれたタグボートに惹かれスケッチしましたが、あっという間に時間となり、セミナー会場へ…。

会場では、黒田さんは、参加者が囲む輪の中で、皆の絵を床に並べ、時間をかけて見ていました。しかし絵については何も仰られず、セミナー最後に「スケッチを１０年後、２０年後取出して見てほしい。」と言われました。

セミナーでの宿題はまだ先ですが、時折、絵を取出して見ながら、門司港が鮮明に蘇り、「心の中の景観」を眺め考え楽しんでいます。

（一財）福岡県建築住宅センター 北九州事務所　成富啓太

講演

ウォッチング

ワークショップ

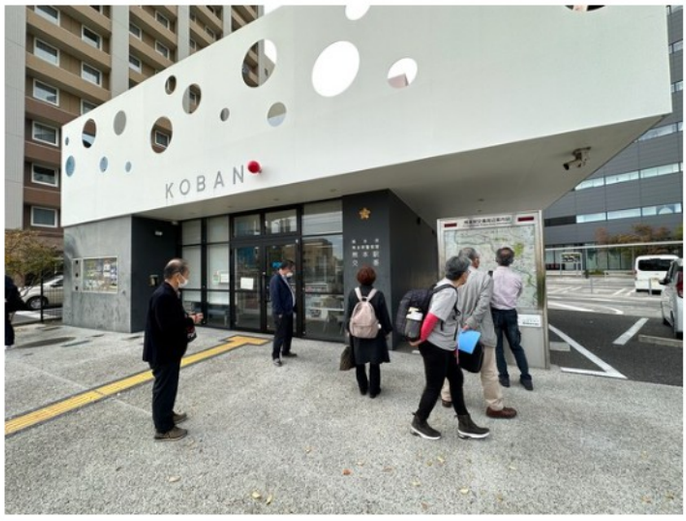
ワークショップ

報 告　11/13～14北九州地域会　研修旅行（令和4年度）

北九州から熊本市内への一泊二日の研修旅行となりました。参加者は10名でした。一日めは新幹線で熊本市に向かい、市電を利用して熊本洋学校教師館ジェーンズ邸、水前寺公園を見学しました。公園では抹茶をいただいたり、風景を眺めながら散歩を楽しんだりとゆったりとした時間を過ごせました。夕刻ホテルに到着し、懇親会では会員間の懇親を深めることができました。

二日目は、「くまもとｱｰﾄﾎﾟﾘｽ」の一環として建てられた二つの交番、そして熊本県立美術館分館、熊本城、JR熊本駅周辺の建物や造形物を見学しました。

先日の震災から復興しつつある熊本城の状況や自然と歴史的あふれる水前寺公園の見学、かたや斬新なデザイン性に富んだ様々な建物を見学できて刺激にもなり、かつ会員間の懇親も深めることができた楽しい研修旅行でした。



北九州地域会　岡松　孝則

福 岡

案 内　12/9（金）福岡地域会忘年会の開催について

初冬の候ますますご清祥の段　お慶び申し上げます。

さて、このたび福岡地域会 忘年会を下記の要領で企画いたしましたのでご案内申し上げます。

福岡地域会の正会員、賛助会員がご参加いただけます。（初めて参加の正会員の方は参加費の助成あり！）

この機会に、交流の輪をひろげてみませんか？皆様のご参加をお待ちしております。

記

《日　　時》令和４年１２月９日（金）　１９：００～２１：００（※受付開始１８：３０～）

《場　　所》梅の花　天神店

（福岡市中央区天神1-15-6 綾杉ビル1F）TEL:092-712-4661

《会　　費》５，５００円／一人

※当日キャンセルの方は、会費をご負担いただきますのでご注意ください。

《定　　員》５０名　※定員になり次第、締め切らせていただきます。

※１２月５日(月)までに事務局までお申し込みください。

★申込用紙は こちら

※感染対策としてご出席される方は、ワクチン3回接種済み もしくは３日前以降にPCR検査にて陰性が確認されている方とさせていただきます。皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いします。

福岡地域会　地域会代表　上田　眞樹

親睦会員委員会　委員長　吉本　高広

報 告　10/31(月)建築関連法規の改正等講習会

10月31日福岡商工会議所にて「建築関連法規の改正等」講習会を（一社）福岡県建築士事務所協会との共催で開催いたしました。

講師として福岡市住宅都市局各課のご担当者や消防局予防部より建築基準法や条例や動向などに関する最新の情報を提供頂きました。コロナ感染対策の元、双方の会員52名の参加がありました。

■講習テーマ

①マンション管理計画認定制度について

②建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部改正について

③マ ン シ ョ ンの建替え等の円滑化に関する法律の一部改正について

④長期優良住宅の普及の促進に関する法律の一部改正に ついて/

その他補助金制度について(アスベスト・土砂災害対策)

⑤屋外広告物許可制度について

⑥道路上にはみ出している看板に必要な許可について

⑦最近の消防行政の動向

福岡地域会 地域事業委員会

委員長　樋口はる香

県 南

報 告　10/14第64回　建築士会全国大会あきた大会

秋田の今昔、東西、建物、食べ物に触れて感動しました。天気にも恵まれ、全国からの建築関係の仲間が集まり、あきた大会を盛り上げるおもてなしに感謝です。

また、みんな飲んで、食べてケレ（方言）で楽しんできました。会場ミルハスの建物も、行われた式典も素晴ら

しい！！秋田、東北の良さが発揮出来ていたと思います。

九州（福岡）からの参加で柳川地域会から7名参加しましたが、このような機会がないとなかなか来られない所だと思いました。建築士会あきた大会の記念対談、記念式典、交流会等大成功と感じました。お世話になりました。お疲れ様でした。

秋田県建築士会、関係者の皆さま　感謝　ありがとうございました。

柳川地域会　江頭栄喜

チョット聞いて

人生・あるある・(5)

あるある・聞き違い(3)

幼い頃、間違って覚えていて、長い間「謎？」だった事

③子守唄で

「モーツァルトの子守唄」で、眠れよい子よ〜･･･というのを、･･･眠れよ「イコよ」と覚えていて、「い子」て変わった名前の子だなぁ？と思っていた。(続く)

福岡地域会　柘植 成光

貴方の趣味の事や面白い話、経験談や失敗談など何でもお寄せ下さい。

［用 紙 等］

４００字程度。ハガキ、FAX、メール等でご応募ください。

［応募規定］

氏名 ／ 住所又は勤務先 ／ 連絡電話番号

［宛　　先］

福岡県建築士会事務局

E-mail ： shikaifu@crocus.ocn.ne.jp

FAX ： ０９２－４８１－２３５５

お 知 ら せ　事務局だより

（公社）日本建築士会連合会より、情報提供がありましたのでお知らせいたします。

★改正建築物省エネ法・建築基準法に係る動向について★

１１月２５日に第１回目の連絡協議会が開催され各団体より会長および役員が出席し国交省より改正建築物省エネ法・建築基準法に係る動向についての説明をいただき、あわせて各団体の取り組み状況・取組方針等について意見交換を行いました。その時の資料を参考資料として情報共有して頂ければ幸いでございます。

こちらから資料をご覧ください!

★改正建築物省エネ法・建築基準法の関する連絡会議について

https://www.f-shikai.org/_managed/wp-content/uploads/2022/11/messe12gatu-syouene1.pdf

★改正建築物省エネ法・建築基準法に係る動向

https://www.f-shikai.org/_managed/wp-content/uploads/2022/11/messe12gatu-syouene2.pdf

事務局

報 告

連合会だより

「日本建築士会連合会 HP」トップページの下段に「連合会からのお知らせ」「新着情報」が掲載されていますのでご覧ください！（2022/11/30 現在）

連合会からのお知らせ

2022/11/22
【お知らせ】民間(七会)連合協定工事請負契約約款の改正について

2022/10/28
【お知らせ】『第２回 日本建築士会連合会 建築作品賞』　受賞一覧を公開いたしました。

2022/10/14
【お知らせ】第５６回定例理事会（理事士会長合同会議）において承認となった後援、協賛、共催等名義等について

2022/10/11
【お知らせ】書籍ご購入に伴う発送についてのお知らせ

新着情報

2022/11/29
【国土交通省】こどもみらい住宅支援事業の申請受付終了について

2022/11/24
【国土交通省】住宅省エネルギー性能証明書の発行等について

2022/11/21
【建築コスト管理システム研究所】国交省告示98号に基づく官公庁建物の設計業務委託の算定プログラム（ｃ－PUBDF）について

2022/11/21
【日本住宅・木材技術センター】中大規模木造建築ポータルサイトセミナー「脱炭素に貢献する木造建築の未来」の開催について

連合会ＨＰはこちらから

事務局

福岡県建築士会写真倶楽部

福岡県建築士会写真倶楽部を立ち上げました。写真好きな方、部員になりませんか。建築物は勿論、季節の花、風景等など自信作を送ってください。応募をお待ちしております。ただし、未発表作に限ります。
不定期となりますが、応募作品を選考後、発表させていただきたいと思いますので宜しくお願いします。
（**被写体の肖像権、著作権には、十分注意をはらっていただきますようお願いします。**）

［応募方法］　メール、携帯からの送信、持込等

［応募規定］　氏名 ／ 題名 ／ 住所又は勤務先 ／ 連絡電話番号

応募数／応募月につき一人１作品

コメント／１００字程度（撮影した写真に対する気持ちや状況など）

［宛　　先］　福岡県建築士会事務局　　shikaifu@crocus.ocn.ne.jp

福岡地域会　堀　謙二

福岡県建築士会写真倶楽部

【題　名】対馬の和多都美神社

【氏　名】堀　謙二

柱の黒くなっている所まで水位が上がるんですね。満潮の時も見たくなりますね。

コ ラ ム

エッセイ

・尻に火が･･･(続)・

・理性の限界・

　お尻の周りを剃る時はどうもなかったが、前になって、若い女性のしなやかな指で摘ままれると理性でコントロールできず心配した通りになった。
「ゴメン」と小さな声で言うと、看護婦さんは黙ってツと部屋を出て詰め所に戻り、熱々のお絞りを持って来て１m位先からポイと私のお腹に投げた。そのお絞りで包んで暫くすると萎れて作業続行となった。

　手術は全身麻酔でポンポンと頬を叩かれて目が覚め、
「無事に済みましたよ」と医者の声が聞こえた。部屋のベッドに移ると、
「最初のお通じは痛いですから」と告げられた。２日目か３日目のそれは、軟らかいのが少ししか出なかったのに凄く痛かった。
　４～５日して、ベッドで、
「お尻を出して下さい」と言われて、いつもの診察と思っていたら、
「ちょっと痛いですよ」と言うなり両指を入れられて思いきり開かれた。
「ギャッ！」と思わず悲鳴を上げた！。ちょっとだなんて･･･。真っ赤に焼けた火箸を突っ込まれたようなとんでもない痛さだった。医者は涼しい顔で、
「これをしとかんと括約筋が正常になりませんから」と言った。

　１週間程の入院だったか、遠いのに家内は着替えや食べ物を持って毎日見舞いに来た。退院後、アルコールは当分の間禁止されて、懇親会などではコーラを水で薄めて氷を浮かべてウィスキーの水割りに見せかけて凌いだ。お陰で以来順調である。(終)

福岡地域会　柘植成光

コラム

シネマサロン

北九州市出身の監督、タナダユキ氏の作品『浜の朝日の嘘つきどもと』（２０２１年）を紹介します。

福島県南相馬市に実在する映画館「朝日座」を舞台に　100年近く地元に愛されてきた映画館を何とか存続させようと、高畑充希演じる主人公が奮闘する映画です。朝日館の支配人は時代の流れに逆らえず、この映画館を閉館する決断をします。そのため35ミリフィルムを一斗缶で燃やそうと火をつけたところへ　若い女性が飛んできて水をかけ、フィルムを守ります。茂木莉子（もぎりこ）と名乗るこの女性は朝日館を存続するために東京から来たと話します。閉館を決めた支配人と映画館を守ろうと奔走する莉子の思いが、朝日館の存続をめぐって交錯します。

支配人役の柳家喬太郎や、朝日座存続を願う、茂木莉子の高校時代の恩師役大久保佳代子の味のある演技が光っていました。

タナダユキ監督は現在西日本新聞にコラムを連載中ですが、小倉旦過市場にあった昭和館の話など本当に映画館を愛しているなあと感じられました。また、北九州の高校時代の先生たちのことなども書かれており、このコラムも興味深く読んでいます。

福岡地域会　廣田栄作

建築関連団体行事予定表はこちら

→ 先月の行事報告

→ 今月以降の行事予定

(公社)福岡県建築士会情報誌 メッセメールマガジン 令和4年12月1日発行 第198号 通巻第414号
発行：(公社)福岡県建築士会 鮎川透　編集：広報委員会 池田友三
事務局：〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-14-18 福岡建設会館6階
TEL 092-441-1867 FAX 092-481-2355
E-mail:shikaifu@crocus.ocn.ne.jp ホームページ https://www.f-shikai.org

今月の編集員
鮎川　透（福岡）、碇　好生（福岡）、池田友三（北九州）、上村公仁隆（福岡）、大嶌栄三（福岡）、木村一光（八女）、新谷秀生（久留米・浮羽）、善　敏治（福岡）、堀　謙二（福岡）末永美穂（事務局）
（　）名は地域会名、五十音順、敬称略

※メールマガジンの写真を無断で転写することを禁じます。